

整備方針

【パッケージ１】

対象事業	防災性の向上と良好な都市環境の形成を促進する市街地整備事業		対象地域	大阪市（東淀川区、淀川区）			
対象事業の期間	平成１６年度～平成１９年度（４年間）		対象事業No.	２			
対象事業の目的							
住宅や工場等が混在した老朽建物が密集している市街地において、土地区画整理事業を基幹事業として、防災性の向上と良好な都市環境の形成を促進する。							
対象事業の効果							
地区内の老朽建物が減少することで、災害時に倒壊等の危険性のある建物に居住する住民が減少する。							
対象事業の成果目標 （アウトカム指標）	地区内の老朽建物率の低下						費用 便益比 （B/C）
	アウトカム指標の定義 及び算定式	地区内の老朽建物の割合。地区内の土地区画整理事業前老朽建物棟数及び現況の老朽建物棟数より算出する。 （老朽建物率）＝ Σ （地区内の現況の老朽建物棟数）／ Σ （地区内の土地区画整理事業前老朽建物棟数）	アウトカム指標の現況 値及び目標値	当初現況値	中間目標値	長期目標値	
				約８４％ （H16当初）	約８０％ （H17末）	約７５％ （H19末）	1.31
全体概算事業費（合計）（百万円）		10,149					

【パッケージ２】

対象事業	地域の活性化と都市拠点形成を促進する市街地整備事業	対象地域	大阪市（淀川区、平野区、鶴見区、阿倍野区、北区、都島区）				
対象事業の期間	平成１６年度～平成１９年度（４年間）	対象事業No.	３				
対象事業の目的	大阪市の中心地域や周辺部の交通結節点などの拠点となる地区において、景観及びバリアフリーに配慮した人にやさしい施設を整備することで、地域の活性化と魅力あふれる都市拠点形成を促進する。						
対象事業の効果	地区内の主要道路の電線類を地中化することで、住民等が安全でゆとりある快適な空間を享受する機会が増加する。						
対象事業の成果目標 （アウトカム指標）	地区内の主要道路の電線類の地中化率の向上					費用 便益比 （B/C）	
	アウトカム指標の定義 及び算定式	地区内都市計画道路における電線類の地中化の割合。地区内都市計画道路の延長及び電線類の地中化延長より算出する。 （電線類の地中化率）＝ Σ （地区内都市計画道路の電線類の地中化延長）／ Σ （地区内都市計画道路の延長）	アウトカム指標の現況 値及び目標値	当初現況値	中間目標値	長期目標値	2.27
全体概算事業費（合計）（百万円）	16,202						